

—エンドユーザーである市民との連携をめざして—

水環境NGO・NPOのご紹介

下水道機構は、これまで行ってきた産・学・官の連携による事業活動に加え、エンドユーザーである市民との連携を模索していこうと考えています。そこで、国民と最も密接につながっているNGOやNPOなどの市民団体との交流を通して、新たな視点に立った事業活動の構築をめざしていきます。その一環として、下水道機構情報では水環境に関わるNGOやNPOなどを皆様にご紹介しています。

■鶴見川流域ネットワーク

〒223-0053 横浜市港北区綱島西1-9-13アクワレル302

TEL：045-546-4337 FAX：045-546-4344

Mail：office@tr-net.gr.jp

ホームページ：http://www.tr-net.gr.jp/

担当：事務局長 小林 範和



概要

鶴見川流域ネットワーク（略称、TRネット）は、バクのかたち（鶴）の形の鶴見川流域地図を共有し、「安全・安らぎ・自然環境・福祉重視の川づくり・まちづくり」をとおして、持続可能な未来を開く新しい流域文化を育くむための様々な流域活動を進めている市民団体の交流・連携組織（ネットワーク組織）です。1991年春、流域の13の団体が連携してスタートしたTRネットは、町田、川崎、横浜の鶴見川流域各地で活動する自然保全、まちづくり、地域文化活動団体等々に広がり今日にいたりました。団体ごとの日常活動を基本としつつ、各種の地域あるいは流域イベントの実施、行政イベントへの連携、さまざまな調査、教育関連活動などを活発に展開しています。

2003年春には、NPO法人を設立（略称npoTRネット）。従来のTRネット活動をnpoTRネットと協働して引き継いでいくために「連携・鶴見川流域ネットワーク（連携・TRネット）」も新設。以降のTRネット活動は、「npoTRネット」と「連携・TRネット」の協働により推進されています。2008年1月現在、連携・TRネットには37の団体が参加しています。

npoTRネットの組織

代表理事 岸 由二（慶応大学教授）、理事7名、常勤職員4名、支援スタッフなど。

活動内容

●流域視野の川づくり・まちづくり

- ①鶴見川流域クリーンアップ作戦（2006年のはべ82団体・1,734人が参加）
- ②バクのかたちの流域ツーリズム推進（流域を再発見するウォーキング）
- ③連携・TRネットの事務局運営を軸とした流域市民団体の活動支援
- ④流域の水辺や緑地の多自然管理とその支援



小学校の総合学習をサポートする河川学習支援



流域の市民・企業・行政と協働によるクリーンアップ



川沿いを歩きながら学ぶウォーキング

●流域環境学習推進活動

- ①学校の流域環境学習支援（2006年度は流域の小学生など2519名の学習を支援）
- ②流域学習スタンプラリー学習（流域の市民活動や治水・下水道関連施設等をめぐる）

●普及・啓発活動

- ①鶴見川流域センターの運営補助
- ②流域ウォーキングMAPや生きもの図鑑等の流域グッズの開発・販売
- ③情報発信（TRネット通信，ホームページ）

●人材育成活動

- ①鶴見川の案内人「リバーガイド」を育成
- ②流域に興味関心を持つ学生等を流域インターンとして支援

●各種の調査・研究活動：アユの遡上，流域一斉の冬鳥調査，高水敷での植物調査など

連携・TRネットの概要

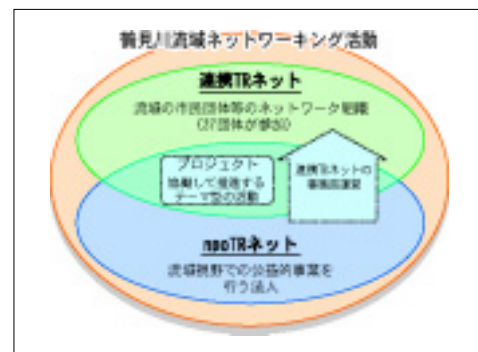
●代表者 代表 岸 由二 副代表 大澤 浩一 亀田 佳子

●組織

地域で活動する37団体が8つの地域組織を構成。

●活動

参加団体の持ち場活動を基本として，地域，流域規模で連携を進め，持ち場，地域，流域の諸課題にとりくんでいます。



表彰等

- ・1999年 第1回水大賞 建設大臣賞。
- ・2000年 リバーシンポジウム（プリズベン市）において河川管理者とTRネットの連携活動が受賞候補とされリバープライズ最終リスト（8団体）に入賞。

活動情報へのアクセスと入会案内など

npoTRネットならびに連携・TRネット参加団体の活動詳細については，npoTRネットのHP（文頭参照）をご参照ください。奇数月に発行されるTRネット通信を定期購読していただく会誌会員（年会費2,000円），活動を支援していただく賛助会員（年会費一口5,000円）も募集中。ご希望の方は事務局までご連絡ください。